

お知らせ

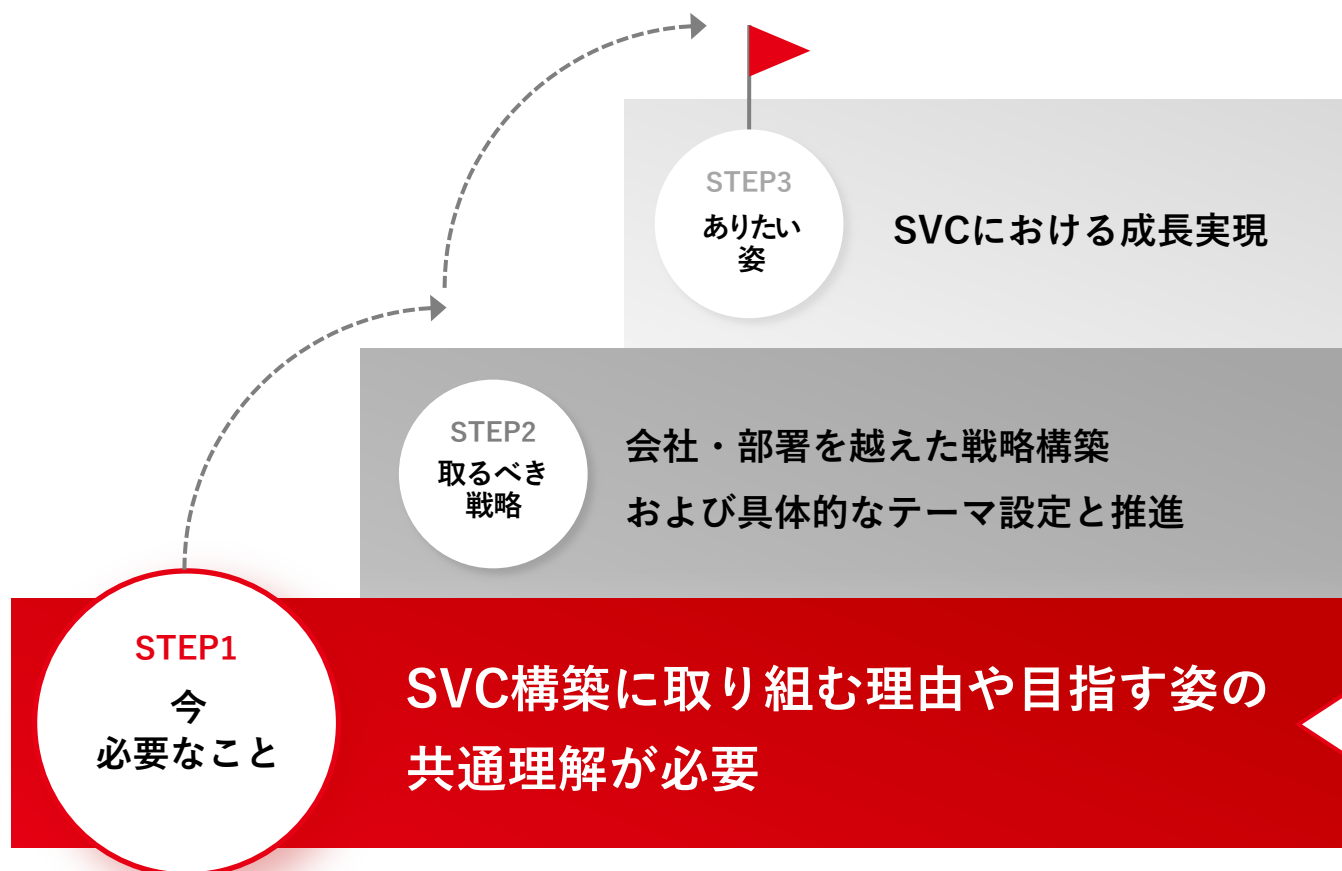
ビジョンMAPが新しくなりました!!

- ビジョンMAPとは
- バージョンアップの目的
- バージョンアップに込めた想い
- 5つの提供価値
- エピソード紹介

2025年10月

ハウス食品 経営企画部

▶ ビジョンMAP＝スパイス系バリューチェーン（SVC） 戦略構築と実行の羅針盤



約半年を掛け、検討を実施 2代目ビジョンMAPに バージョンアップ

SVCの構築には、なにより「どのような姿を目指しているのか」を共有して、皆さんでそれを理解する過程が欠かせません。私たちはこの共通理解にはビジョンMAPが重要と考え、約半年をかけてビジョンMAPの再検討を実施しました。

- ・社内でのワークショップ実施
- ・海外現地法人へのヒアリング

などを経て、新たにバージョンアップした
2代目ビジョンMAPが完成しました。

▶ グローバルに共感性を高め、SVCの成長を加速させる

初代ビジョンMAPの役割（23年公開）

1 SVCを通じたありたい姿を示す

バリューチェーン（以下VC）経営への理解や共通認識が醸成されていないなか、VCを構築することで実現する世界を示す

未知の領域を含めてスパイス、カレーの可能性を発掘・拡げ、ハウス食品グループの持つ知見やノウハウをつなげることで「世界中の人々を笑顔にしていく」

その手段として「独自スパイスを世界に届ける」、「カレーを世界に広げる」と定めた

2 VC視点で発想することで事業領域が広がる可能性を示した

スパイスやカレーの持つ可能性を自由に発想することで、事業領域＝お客様とのタッチポイントが広がっていくことを示した

バージョンアップの背景

ビジョンMAPの策定によりVC議論は確実に動き出した

VC経営のコンセプトは一定程度浸透し、具現化フェーズに移行

▼ 2代目ビジョンMAPへ

私たちがより一層、

主体的に検討し、行動していくことを大切にしたい

目指す姿・提供価値の明確化



▶ カレーとスパイスで世界中を笑顔に



デザイン意図

to be

スパイス系VCの目指す姿
=カレーとスパイスで世界中を笑顔に
を中心に添え、

to do

実現に向けて磨いていく5つの提供価値
を配置。

SVC各社の事業を通じて
世界中で笑顔ある暮らしを実現する

想い

めざす姿、5つの提供価値の実現に向けては、
私たち一人ひとりの
自由な発想、試行錯誤によって創り上げていきたい

初代MAPから掲げている
『to be』『to do』を実現するためのミッション



5つの提供価値①

新しい食文化を提案する

日本でカレーを始めとした洋食メニューを一般のご家庭で誰もが食べられる形で提供し国民食としてきたように、世界中で新たな食文化を提案し、豊かな食生活に貢献していくことを目指します



5つの提供価値②

安全安心をお届けする

安全安心をお届けすることはメーカーとして忘れては
いけない基本的な価値です。

社員がイキイキと創意工夫できる環境を整備し、
栽培・調達、企画・設計、製造、物流、販売までの
VCの全域で、品質の維持向上に取り組めます

5つの提供価値③

食が持つ“つなぐ力”をはぐくむ

食には人と人をつなぐチカラがあります。
食を通じた社会課題の解決に向けて、グループ内だけでなく、
多くの人々を結び、繋がっていくことで、共生社会の架け橋
となることを目指します



5つの提供価値④

持続可能な食を実現する

我々が提供する製品・サービスは、地球の恵みやVC全域で多くのステークホルダーに支えられて成り立っています。気候変動や地政学リスク、社会変化等により、持続性へのリスクは年々高まっています。

川上の産地支援や形成、川中の製法改善や物流課題の解決、川下の食品ロス低減など、VCの各段階、様々なシーンで私たちは課題解決に取り組みます



5つの提供価値⑤

食への興味関心を高める

日々の食は、思考や行動、習慣、性格を形作る礎となるものです。

食育（食体験）、健康形成（過剰栄養・栄養不足）、環境配慮・負荷低減など、食を生業とする私たちだからこそできる活動を積極的に推進します



▶ カレーとスパイスで世界中を笑顔に

新ビジョンMAP「ありたい姿」と「5つの提供価値」の周囲に散りばめられたイラストには、それぞれ意味が込められています。

社内で実施したワークショップにおいて、参加者から寄せられた「ありたい姿」と「5つの提供価値」から想起されるシーンやエピソードを笑顔に絡めて記載したものです。

ひとつひとつのイラストを見て、それが一体どんなシーンを表しているのか、想像しながらビジョンMAPをご覧ください。



SVCを通じた「ありたい姿」を
ビジョンMAPの中心に置いています



ゴールから想起されるシーンやエピソードを、
笑顔に絡めて話してくれたワークショップ参加者の声

あの頃 さん

※ 社内ワークショップでは立場や部署の違いを越えて自由に議論するため、
全員が目隠し状態で行い、同じ匂いをかいだ時の各自がその匂いから
思い浮かべたイメージをニックネームとしています

笑顔って何だろうっていうのを考える時間になりました。

笑顔って笑ってる状態なんだろうか？安心してるとのか？

健康でいることが笑顔になるのか？

それが言語化されたら、共通認識を持てたら、何か新しいこと、10年後のビジョンにも繋がるんじゃないだろうかをずっと考えていました。まだモヤモヤとしていますが、「笑顔はひとつじゃない」ということは実感できました。よりパーソナライズを追求するなど、製品やサービスを通じて多様な笑顔を作っていくことが大切ですね。

▶ カレーとスパイスで世界中を笑顔に

新ビジョンMAP「ありたい姿」と「5つの提供価値」の周囲に散りばめられたイラストには、それぞれ意味が込められています。

社内で実施したワークショップにおいて、参加者から寄せられた「ありたい姿」と「5つの提供価値」から想起されるシーンやエピソードを笑顔に絡めて記載したものです。

ひとつひとつのイラストを見て、それが一体どんなシーンを表しているのか、想像しながらビジョンMAPをご覧ください。



SVCを通じた「ありたい姿」を
ビジョンMAPの中心に置いています



ゴールから想起されるシーンやエピソードを、
笑顔に絡めて話してくれたワークショップ参加者の声

境内 さん

まず笑顔のメッシュ感・解像度を考えました。言葉だけ聞くとアップでポジティブな感情のイメージですが、私達が提供するものとしては「普段の暮らしの中で機嫌よく」ぐらいのものが笑顔だと思います。

スパイスはものすごく多様で、我々も把握しきれないほどの可能性を秘めているものです。とにかく多様で、わくわくする、七変化。

家庭の食卓だけじゃない多様な人・暮らし・シーンに応えるものこそが、多様なスパイスである。そう考えるとスパイスを扱う立場である我々も、よりわくわくしながら取り組めるんじゃないでしょうか。

▶ 新しい食文化を提案する

新ビジョンMAP「ありたい姿」と「5つの提供価値」の周囲に散りばめられたイラストには、それぞれ意味が込められています。

社内で実施したワークショップにおいて、参加者から寄せられた「ありたい姿」と「5つの提供価値」から想起されるシーンやエピソードを笑顔に絡めて記載したものです。

ひとつひとつのイラストを見て、それが一体どんなシーンを表しているのか、想像しながらビジョンMAPをご覧ください。



新しい食文化を一匙のスパーンで
表現しています



この提供価値から笑顔が想起されるシーンやエピソードについて話してくれた社内ワークショップ参加者

祈りさん

世界のより多くの人々に、新しい食文化を届ける。それによって笑顔にしていきたい、
笑顔を増やしていきたい。

これがSVCの取り組みであると捉えています。これを掲げることで、会社はより多くの
エリアに事業展開をすることができ、事業規模が拡大する。ひいては売り上げが増
えることで社員にも還元でき、私たち自身も笑顔になって、自分たちの家族も笑顔に
することができる。

これが笑顔のバリューチェーンという言葉が示すものだと考えました。

▶ 安全安心をお届けする

新ビジョンMAP「ありたい姿」と「5つの提供価値」の周囲に散りばめられたイラストには、それぞれ意味が込められています。

社内で実施したワークショップにおいて、参加者から寄せられた「ありたい姿」と「5つの提供価値」から想起されるシーンやエピソードを笑顔に絡めて記載したものです。

ひとつひとつのイラストを見て、それが一体どんなシーンを表しているのか、想像しながらビジョンMAPをご覧ください。



安全安心な製品・サービスをお届けする取組を語っている様子を表現しています



この提供価値から笑顔が想起されるシーンやエピソードについて話してくれた社内ワークショップ参加者

エキゾチックさん

10年後、スパイスに関わる方たちにもっと笑顔になってもらいたいですよね。スパイスはアクセント、変化とか刺激みたいなイメージが今はまだあると思います。そういう機能的な部分ではなく、ストーリーの部分。大変な思いをして作ってるとか、こんな工夫をして作っていると、ストーリーの部分をしっかりと伝えることで、もっとバリューチェーンとしてみんなが笑顔になれるのではないのでしょうか。

▶ 食が持つ“つなぐ力”をはぐくむ

新ビジョンMAP「ありたい姿」と「5つの提供価値」の周囲に散りばめられたイラストには、それぞれ意味が込められています。

社内で実施したワークショップにおいて、参加者から寄せられた「ありたい姿」と「5つの提供価値」から想起されるシーンやエピソードを笑顔に絡めて記載したものです。

ひとつひとつのイラストを見て、それが一体どんなシーンを表しているのか、想像しながらビジョンMAPをご覧ください。



スパイス系VCで生み出された
製品やサービスが、
さまざまな国や地域の
マーケットで日常に溶け込む
様子を表現しています



この提供価値から笑顔が想起されるシーンやエピソードについて話してくれた社内ワークショップ参加者

インドリーさん

子供の笑顔を中心に、家族の笑顔を大事にしたい。

スパイスはちょっと特別な料理のようなイメージがありますが、日常使いできるものとして、自然に溶け込むような形で、普段何気なく食べている食事がスパイスで美味しくなって「うれしいね、笑顔だね」を目指したいと思います。

▶ 持続可能な食を実現する

新ビジョンMAP「ありたい姿」と「5つの提供価値」の周囲に散りばめられたイラストには、それぞれ意味が込められています。

社内で実施したワークショップにおいて、参加者から寄せられた「ありたい姿」と「5つの提供価値」から想起されるシーンやエピソードを笑顔に絡めて記載したものです。

ひとつひとつのイラストを見て、それが一体どんなシーンを表しているのか、想像しながらビジョンMAPをご覧ください。



スパイスを栽培する
生産者の皆さんと共創し、
生産の持続性とスパイスの新たな可能性を
探求している様子を描いています



この提供価値から笑顔が想起されるシーンやエピソードについて話してくれた社内ワークショップ参加者

お坊さん さん

私はずっとBtoCに近いところで仕事をしてきたので、お子さんやお母さんの笑顔は常に意識する、すごく大きな存在でした。

ワークショップで所属の異なる他の参加メンバーと話して改めて気づいたのは、私たちの製品は原料、つまりサプライヤーさんやスパイスを栽培されている農家さんがあってのものだということ。私たちが製品を提供している人たち、お客様だけでなく、提供していただいている方々にも笑顔になって欲しい。そういう会社でありたいという気持ちになれたのが新しい視点、発見でした。

▶ 食への興味関心を高める

新ビジョンMAP「ありたい姿」と「5つの提供価値」の周囲に散りばめられたイラストには、それぞれ意味が込められています。

社内で実施したワークショップにおいて、参加者から寄せられた「ありたい姿」と「5つの提供価値」から想起されるシーンやエピソードを笑顔に絡めて記載したものです。

ひとつひとつのイラストを見て、それが一体どんなシーンを表しているのか、想像しながらビジョンMAPをご覧ください。



キャンプのカレーのような
日本人の原風景にある
カレーを表現しています



この提供価値から笑顔が想起されるシーンやエピソードについて話してくれた社内ワークショップ参加者

夏休み さん

「夏休みのキャンプにはカレー」という思い出が強く残っており、小さいときに食べたスパイス、カレーが原風景になっています。日本人って、メニューにカレーがあるとみんな笑顔になるじゃないですか。今のお子さんはもちろん、おじいさんも、私たちも。それは、みんな昔は子どもだったからですね。キャンプのカレーという原風景を共有している。そういうカレーのおいしさ、楽しさを日本だけでなく世界に向けて10年後も伝えていければと願っています。

未作成

アンケートにご協力ください

2代目ビジョンMAPが皆さまの活動に役立てば嬉しく思います。

より良い浸透、ありたい姿、5つの提供価値実現に向けて皆さまからのご意見・ご感想をお待ちしております!!

URL：

回答期限：〇〇〇〇年〇月〇日

回答時間：約〇分

新ビジョンMAPについてはLPも合わせてご覧ください。

<https://xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx>

・アンケートフォームのご提供をお願いします

⇒フォームス活用を想定している為、回答範囲に制限がある
メールでも受け付けできるように（海外）

・本文についてもあわせて原稿のご提供をお願いします。